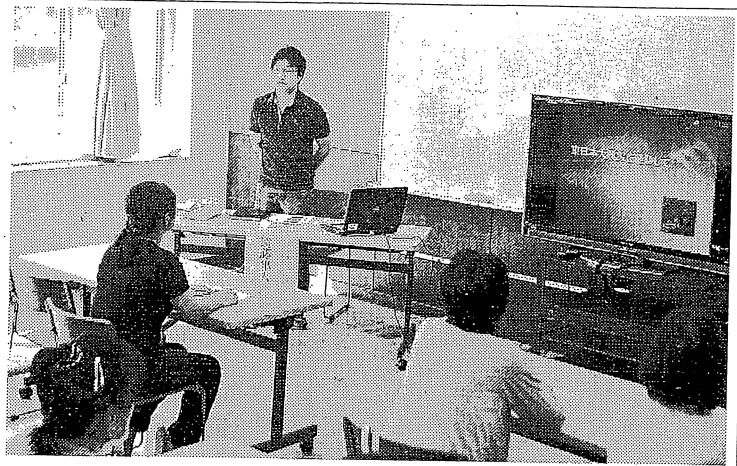


9月28日(金)実施

P T A 講演会

「薬の詳細、持っていて」

特支松崎分校
P T A 講演会
遠藤さん 震災体験語る



東日本大震災の体験を語る遠藤さん
＝東部特別支援学校伊豆松崎分校

松崎町の東部特別支援学校伊豆松崎分校は28日、同校でP T A講演会を開いた。防災をテーマに、東日本大震災被災者の体験談を聞き、参加者約20人が災害に備える大切さを学んだ。

講師は福島県富岡町の児童福祉施設に勤務

していた遠藤隼人さん(富士宮市)で、震災直後や避難所での体験を語った。

遠藤さんは、震災でかかりつけの病院が機能しなくなり、薬が入り手できなくなった場合について説明。そのため、他の病院でもらう

ためには薬の詳細が必

要で、情報が入ったパソコン一式を避難所まで運んだという。「薬の詳細を記したものを持っていた方が良い。どこにいても『この薬をください』と言えるようにしてほしい」と訴えた。

また、自閉症の利用者は避難所を嫌がり、

入ることができなかった。ある職員が大きな段ボールを持ってき

て、利用者の「個室」一人の特性や苦手なものをしっかり把握することが重要と伝えた。